

SDGsへの挑戦 – それぞれのきっかけからメリットまで！ –

事業者	岐セン株式会社		
所在地	岐阜県瑞穂市	業種	染色整理加工業
設立	1943年	環境経営継続期間	7年
従業員数	243名	SDGs取組開始年	2018年



- SDGsに貢献できる技術の開発により、製品の環境対応性を求める顧客ニーズに対応
- 身近な活動から徐々に拡大

2. SDGsを意識した取組の意義・効果・変化

■ 取組の意義

- ・ 染色整理業は、エネルギー多消費型であり、環境負荷も高い。染色排水処理などの公害問題や労働環境問題への対応も必要。**事業を継続する限り、常に環境に配慮した対応とこれらの課題への解決が必要**と考えている。

■ 取組の効果、変化

- ・ 顧客に対し環境配慮型であることを強みとする加工薬剤・方法や商品を提案できるようになった。
- ・ 環境対応への要求が厳しいEU向け商品にも対応することができ、顧客との商談により影響を与えている。
- ・ **従業員一人一人が、開発業務の中でSDGsを意識して行動するようになった。**

1. SDGsを意識した取組の現状と経緯

■ 取組の現状

- ・ **環境配慮型の機能性付与や染色加工技術を開発**。製造工程における**省エネ、排水の低減に継続的に取組み**、縫製業と協業して**デッドストック生地を活用した消費者向け商品の開発や販売**なども開始した。
- ・ 環境に配慮したエネルギー利用を意識し、1981年にはバイオマスボイラー、2016年からは、本来焼却廃棄される廃棄物をリサイクル燃料(RPF/RDF)として使用するボイラーを導入している。
- ・ 離接する子会社では、2014年より木質バイオマス発電事業を開始し、資源循環型エネルギーの提供とCO₂削減に貢献している。

■ 取組を始めた経緯

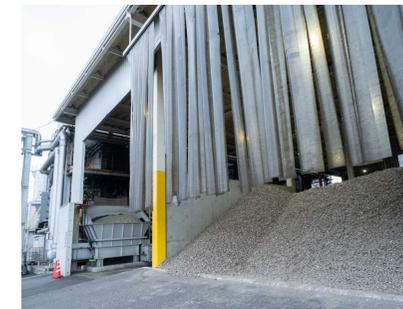
- ・ **EUへの輸出商品は、近年は環境対応をしていないと商談に臨めない**ことから、繊維業界全体でSDGsの取組が加速した。

3. 取組の進め方

- ・ 紙などの消耗品再利用などの**身近な活動や、すぐにできることから始め、徐々に取組を拡大した**。
- ・ SDGsの取組の中には、省エネや生産性を上げて加工コストを削減することにより取り組めるものもある。



SDGsを意識した展示会にて環境配慮型商品を紹介



RPF/RDFボイラー施設外観